

2018年9月11日
川崎重工業株式会社
エネルギーシステム総括部
株式会社カワサキマシンシステムズ

計画停電に対する非常用ガスタービン発電設備運用上のお知らせ

さる9月6日に発生しました北海道胆振東部地震につきましては、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますと共に、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

また、一日も早い復興・復旧をお祈り申し上げます。

さて、震災による電力事情から、北海道電力殿の計画停電が実施された場合に備え、非常用ガスタービン発電設備の運用を計画されておられるお客様に以下のことをお知らせさせていただきます。

1. 計画停電前の事前確認事項

(1) 燃料貯蔵量の確認

計画停電継続時間をご確認頂き、その間連続運転できるだけの燃料を燃料タンクに貯蔵されることをお奨めいたします。なお、燃料消費量については完成図書又は弊社カタログに記載がございます。

(2) 潤滑油量の確認

発電装置運転によって潤滑油は少量ずつ消費します。

発電装置停止中に潤滑油油面計にて、潤滑油油面が『H』（上限）近くにあることをご確認をお願いします。潤滑油を油面『H』付近まで補給しておくこと160時間以上連続運転ができます。

油量が少ない場合は、弊社指定の潤滑油（SHELL ASTO - 500）の補充をお奨めいたしますが、補給方法が判らない場合には弊社までご連絡をお願いします。

なお、一般産業用の潤滑油や鉱物油等は使用しないよう、ご注意ください。

また、補充作業は必ず発電装置停止中に実施してください。

(3) 燃料系統の目視点検

燃料系統（燃料タンク及び配管等）に異常が無いことをご確認をお願いします。

2. Q & A

(1) 燃料が少なくなった場合どうすればいいのか

燃料タンク燃料油面が規定値以下になると、燃料残油少量を知らせる『燃料油面低下』警報が発報します。

燃料がある限り運転を継続することは可能ですが、燃料切れにて停止するとエンジン燃料系統に空気が混入し、燃料を補充しただけでは再始動ができない恐れがあり、弊社作業員による整備作業が必要になります。

従って、万が一燃料不足の時には次回の計画停電に備え、燃料が無くなる前に手動にて『非常停止ボタン』を押して停止頂くことをお奨めいたします。

なお、連絡頂ければ弊社作業員による燃料系統の空気を抜く整備作業をさせていただきますが、作業員の確保が十分ではなく、即時対応できないことも考えられますのでご了解の程お願いいたします。

(2) 指定数量以上の燃料を貯蔵するにはどうすればいいのか

長期停電に備えて、やむを得ず指定数量を超えて燃料の貯蔵を計画される場合には、消防法令違反及び保管時の事故を防止するために、管轄消防署へご相談をお願いします。

(3) 燃料種を変更することは可能か

お手数ですが下記連絡先へご連絡をお願いします。

(4) 潤滑油が少なくなった場合どうすればいいのか

潤滑油油面『L』付近であっても、数時間の計画停電であれば運転可能です。

但し、潤滑油油量が限界以下となりエンジンへの供給潤滑油圧力が低下すると、保護装置が働き発電装置は重故障停止しますので、可能な限り潤滑油油面が『H』上限付近となるように補充を行っていただくことをお奨めします。

(5) 故障が発生した場合の復旧方法は

重故障にて発電装置が停止した場合は弊社に連絡願います。

軽故障の場合は発電装置は停止しませんが、燃料油面低下等、そのまま放置しておくと継続運転できなくなる恐れもありますので、速やかに故障原因の除去をお願いします。

その後、故障復帰ボタンを押すと故障表示は消えて故障復帰します。

ご不明な点がございましたら、下記連絡先へご連絡をお願いします。

(6) 相談連絡先は

御相談、御質問等につきましては下記サービス拠点までご連絡をお願いします。

株式会社カワサキマシンシステムズ（通称KMS）

●東部事業所（8：30～17：30）

電話：（03）5280－9191

住所：東京都千代田区神田駿河台2丁目5－1（お茶の水ファーストビル9階）

●中部事業所（8：30～17：30）

電話：（0566）91－5121

住所：愛知県知立市東上重原5－21

●西部事業所（24時間対応窓口）

電話：（078）921－8580

住所：兵庫県明石市川崎町1－1（川崎重工業(株)明石工場内）

ホームページアドレス <http://www.khi.co.jp/corp/kms/>

以上